

仕事と生活の調和推進キャンペーン 協働提案事業を実施しています！

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を広く周知するため、事業者やNPO・団体等が持つノウハウやツールを活用し、協働で事業を実施します。今年度採択された各団体の事業が始まっています。

①	団体名	区分	内容	開催日	場所
①	滋賀県立大学子育て応援ラボみかげ	上映会等	障がいのある人たちのワーク・ライフ・バランスを映像を交えて考えるビデオ上映会	H22.9.25	滋賀県立大学交流センター2F
②	NPO法人 高島なごみの里	体験等	竹の伐採と竹を使ったアートワークショップ	H22.10～11	楽農舎なごみの里 観光農園
③	しがらきだらけ どんとこむ	セミナー	ワーク・ライフ・バランスが実現された効率的な経営方法・仕事のやり方を学び、取得するためのセミナー	H22.10.20～12.31	信楽町内
④	おおつ男性会議	セミナー 展示	ワーク・ライフ・バランスを実践するための一歩を踏み出すために、自分自身を再発見したり、人間関係を探求するための人間力開発セミナー	H22.11.14 H22.11.20	男女共同参画センター
⑤	ワーク・ライフ・バランスミュージカルしが実行委員会	ミュージカル	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の視点で「ザ・デビュー 男の料理教室」の一部上演。	H22.11.20	男女共同参画センター
⑥	特定非営利活動法人 びいめ〜る企画室	体験	イクメン講座として子どもが喜ぶ「キャラ弁」づくり、遊び方のコツを学べる「おもちゃが100倍楽しくなる父子おもちゃ講座」	H22.11.20	男女共同参画センター
⑦	グループ・マシュマロ	絵本読み聞かせ等	ワーク・ライフ・バランスを題材にした紙芝居、親子で楽しめる絵本の読み聞かせや手遊び、ビデオ上映など	H22.11.20 ほか	男女共同参画センター
⑧	榊メンタル・パワー・サポート	セミナー	なぜ、ディズニーランドのスタッフが笑顔で優しい人ばかりなのか？ディズニーランドで働く人々の裏側と一生懸命働く秘密を映像を交えながら探るセミナー	H22.11.23	大津市明日都ホール
⑨	NPO 法人 絵本による街づくりの会	絵本読み聞かせ等	父子で楽しむ絵本と絵本の楽しみ方や読み聞かせ方法について学ぶ教室等	H22.12.12	マキノ土に学ぶ里研修センター
⑩	NPO 男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海	講演	「ワーク・ライフ・バランス」とライフロール 立命館大学キャリアセンター 吉岡玲子氏	H23.2.19	男女共同参画センター

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）シンポジウム 参加申し込み受け付け中 ※申し込み締切日 11/12（金）先着順です。

⑤～⑩の事業は仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）シンポジウム（11/20）で実施される事業だよ。みんなで遊びにきてね！

詳しくはこちら→<http://www.pref.shiga.jp/c/danjo/>



男性の育児、イクメンに関する本

パパルール あなたの家族を1001倍ハッピーにする本
Fathering Japan / 編 安藤哲也 十崎恭弘 / 著 合同出版



“どんぐりの木のありがたを知る”、“ママに弱音を吐く”などユニークで楽しいパパルールが101個も！全部はムリだとしても「コレ、面白そうだな」と思うものをチョイスしてみてください。

おとうさんの育児自書
おとうさんはウルトラマン
宮西達也 / 著 学研



「おとうさんはウルトラマン」や「おまえうまそうだな」などの絵本作家であり、4児の父でもある宮西達也さんの本。お父さんはどうあれはいいのかなんて堅苦しく考えず、どんなことにも、真剣にがんばっていることが子どもにとってかっこいいお父さんなのかもしれません。

「パパ権宣言！お父さんだって子育てをしたい」
川端裕人・岸裕司・汐見稔幸 / 著 大月書店



個性あふれる三人のお父さんたちが、子育ての体験をもとにお父さんだって子育てしたいと「パパ権」を提言。父親が子育てを通して地域へのつながりを作っていくことは、やがては子育てしやすい社会へと変えていく原動力に、とこどん「お父さん」を楽しもう！

わが子をひざに パパが読む絵本50選
桑原聡 / 著 産経新聞 ユーサービズ



著者のお子さんが2歳のときに読んであげていた絵本を中心に紹介。桑原さんは子どもを授かったことをきっかけに絵本に親しむように。わが子をひざに絵本の読み聞かせをしていると子どもとの絆が深まることを実感。ぜひ、お子さんと絵本をお供に過ごしてみてください。

子育てパパになろう
パパの育児参加応援コミック
伊藤かこ 他 / 共著 あおば出版



お父さんにしかできない育児や楽しく子育てする秘訣などを体験者のエピソードをもとにコミック仕立てに、息抜きがてら、ご夫婦で読んでみるとお互いの胸のうちがわかるかも。

『EQ JAPAN UK 発 男の育児バイブル』
アクセスインターナショナル発行



巷にある子育て雑誌とは一味違う。男の人なりの子育ての楽しみ方や方法があることをコンセプトにアウトドアや野外遊びを特集。子育てが楽しくなるグッズやカッコイイベビーカーの紹介などもおもしろい。

こんにちは、G-NETしが推進員です!

G-NETしが推進員とは…
男女共同参画センターの講座修了生など、地域の男女共同参画の推進に関わるリーダーです。

地域活動の紹介

『とちの実会』というグループで「まつり・習俗と女性」について研究されている喜多尾文代さんの活動を紹介します。



私たち「とちの実会」は、1996年に栃木県宇都宮市で行われた日本女性会議に近江八幡市より派遣された女性のグループです。

会議終了後、近江八幡に戻り「とちの実会」を編成しました。「まつり・習俗」という分野を男女共同参画の視点で考えてみることにしました。

男女共同参画社会を築くことは、私たちの切なる願いです。しかし、このことは、長い間男性主導型であった日本社会において、その歩みは今ひとつです。女性が女性であることを理由として受ける様々な不平等や偏見差別は、長い歴史の中で作られ、人々の意識や社会のしくみに深く根ざしています。

各地域には、それぞれの「まつり」があり、地域社会のくらしや考えたと切っても切れない関係にあります。これら祭祀の現状調査を行うことにより、歴史的背景や慣習・住民意識の中で長年培われてきた女性に対しての見方の実態を把握し、今後の男女共生の地域づくりの糸口を見出したいと思います。

新しい世代に伝統がどのように受け継がれていくか、各地域で男女共に考えてみる時期ではないでしょうか。それは、まさしく「住みよい町」の中に活かされる伝統であらねばと思います。男性の声も女性の声も等しく聞こえるみんなの「まつり」の誕生が望ましいです。



取材



子育てをサポート しています!

マミーハウス
(東近江市)

しがWOMANネット団体「お産&子育てを支える会」の朝比奈順子さんは、毎月第4水曜日11時から15時まで子育て中のママたちに交流の場を提供しています。参加費は100円でお昼ご飯には、栄養満点の手作りおかずも用意しています。

市の中心地の、静かな純和風の一軒家に11時過ぎると次々と赤ちゃんを連れのお母さんたちが集まってきます。それぞれ好きな所に席をおいて、自由に子育ての話が始まります。友達同士、初対面、出産前の方など様々な会話の輪が広がります。子どもたちも、走り回る子、ハイハイする子、まだ寝たままの子・・・誰もが自由にのびのびと過ごしておられました。助産師さんも輪に加わり、楽しい会話が弾みます。

お二人の助産師さんからは、「お互いいろんなことを学び、身につけて親子共々育ててほしい。『自然が一番』という思いが伝わってきました。

朝比奈さん▶

参加者は、「ここに来るのが楽しみです。安心して子育てができてうれしいです。朝比奈先生の顔を見るとほっとします。」との声が、聞かれました。



広角レンズ

— イクメンの先輩!?オスが子育て —

「タツノオトシゴ」

タツノオトシゴのオスは、^{いくじのう}育児嚢という子どもを育てる袋を持っています。産卵期である6~7月になると、配偶が成立し、メスは輸卵管を出し、オスの育児嚢の入り口の小さな穴に差し込んで卵を産みます。メスの卵は、オスの育児嚢にあずけられ保護されながら成長します。オスが育児嚢をピクピクさせて力むと小さな入り口から、ポーンポーンと稚魚が吐き出されます。そして、オスの子育ては、終わります。寿命は3年です。

人間界でも、パパの大きな愛情で子どもを包み込む子育てを応援していきたいですね!



オスの育児嚢に産卵するメス

参考文献:「あつ!」と驚く動物の子育て

しがWO・MANネット団体

県立男女共同参画センターを拠点にして、男女共同参画社会の実現に向けて、男女の自立と社会参画をねらいとして活動している、またはこれから活動しようとする団体やグループ▶活動団体、随時募集しています!